

陸 上 競 技

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟 (一財) 新潟陸上競技協会
- 2 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 長岡市教育委員会
(公財) 新潟県スポーツ協会 長岡市陸上競技協会 新潟日報社
- 3 主 管 中越地区中学校体育連盟 長岡市三島郡中学校体育連盟
- 4 後 援 (公財) 長岡市スポーツ協会
- 5 期 日 令和5年7月15日(土)・16日(日)
- 6 日 程 7月15日(土) 主任会・・・・・・・・・・・・・・・・ 8:00
代表者会議・役員打ち合わせ・・・・ 8:20
開会式・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:00
競技開始・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:30
競技終了・・・・・・・・・・・・・・・・ 16:30
7月16日(日) 主任会・・・・・・・・・・・・・・・・ 7:30
役員(パート別)打ち合わせ・・・・ 7:50
競技開始・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:00
競技終了・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:45
閉会式・・・・・・・・・・・・・・・・ 16:00
- 7 会 場 長岡市宮陸上競技場(第2種) TEL 0258-27-6300 長岡市緑町1-5-1
- 8 競技種目 (男子 13種目) 100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・110mH【91.4cm/9.14m】・4×100m・走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投【5.000kg】・四種競技(砲丸投4kg)
(女子 11種目) 100m・200m・800m・1500m・100mH【76.2cm/8.00m】・4×100m・走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投【2.721kg】・四種競技
- 9 参加資格 (1) 日本陸連登録を完了している生徒。
(2) 各地区から選抜された各種目それぞれ40名(40チーム)とする。
(3) 各種目とも40名(40チーム)の内訳は上越地区と下越地区が8、新潟地区10、中越地区14とする。ただし、四種競技は上越地区と下越地区が6、新潟地区8、中越地区12とする。
(4) 引率者・監督は、当該校の校長・教員、または部活動指導員であること。引率者特例については特別規則を参照する。
- 10 競技規則 2023年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・競技注意事項による。
- 11 競技方法 (1) 各競技は個人競技とし、リレーのみチーム対抗とする。
(2) 100m・200m・ハードル競技は準決勝を行う。
(3) リレー競技をのぞくトラック競技は次のラウンド進出のためにプラスアルファ方式を採用する。
(4) 走高跳・棒高跳のバーの上げかたは次の通りとする。ただし、状況により変更することもある。
《走高跳》 男子 (練習155) 160・165・170・175・180・183・185 以後2cmきざみ
女子 (練習130) 135・140・145・150・155・158・160 以後2cmきざみ
《四種走高跳》 男子 (練習135・150) 138・141 以後3cmきざみ
女子 (練習118・133) 121・124 以後3cmきざみ
*練習の高さは希望による。
*人数を均等に分けた2グループで行う。
《棒高跳》 男子(練習230・350・400) 240・250 以後10cmきざみ
女子(練習160) 170・180・190・・・320・325 以降5cmきざみ
(5) 走幅跳と砲丸投は予選を行う。予選通過標準記録は次の通りとする。
《走幅跳》 男子 6m55 女子 5m45
《砲丸投》 男子 13m00 女子 12m50
(6) フィールド競技の走幅跳、砲丸投は次の通り計測ラインを設定する(四種競技は除く)。状況により変更することがある。なお、計測記録に達しない場合でも、有効試技の1回目は計測する。
《走幅跳》 男子 5m30 女子 4m20
《砲丸投》 男子 9m00 女子 8m50

- 12 出場制限 (1) 1 チーム 1 種目 2 名以内、ただし、棒高跳については、1 チーム 3 名まで可。1 人 2 種目以内。
(リレーは除く)
(2) リレーは 6 名まで申し込むことができる。
- 13 表彰 (1) 1 位には優勝杯 (持ち回り) とメダルを授与し、各種目 8 位まで賞状を授与する。
(2) 全競技を通して最優秀選手 (男 1・女 1) に県陸協より記念品を授与する。
(選考委員＝県陸協・中体連陸上競技専門部総務委員)
- 14 参加申込 申し込み方法は下記による。
(1) 各学校は県中体連ホームページから規定の申し込み用紙 (第 1 号様式) をダウンロードの上、必要事項を記入し、地区大会後直ちに事務局に提出する。
* 第 1 号様式に学校番号を必ず記入すること。(別紙学校番号表参照)
* 提出された第 1 号様式をもとに、各校顧問または代表者が「アスリートランキング (AR)」へのエントリーを 6 月 19 日 (月) までに行う。エントリーは必ず「新エントリー」で行うこと。
(2) 申込必要書類等※ 各校・各チームへの返信書類はメール配信するので、返信用封筒は不要。
① (1) の各用紙 (事前に校長職印もしくは代表者印・記載者印を押印する)
② 参加料納付書 (事前に責任者印を押印する)
③ 参加料 (1 名 1000 円)
④ 宿泊申込書 (希望校のみ)
- 15 その他 (1) 用具は会場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用する。
《ポール送り先》 〒940-2105 長岡市緑町 1-5-1 長岡市営陸上競技場 TEL0258-27-6300
(2) 競技場は全て全天候型のため 9mm 以下のスパイクを使用する。ただし走高跳は 12mm 以下のスパイクを使用する。スパイクの先端が鋭利なものは使用しない。
(3) アスリートビブスは各校各個人に割りあてられたナンバーを使用すること。アスリートビブスの大きさは下記の通りとし、各校で用意する。たて 16cm 以内×よこ 24cm 以内 男＝黒字 女＝赤字 数字の線の太さは 1.5cm、文字の大きさはたて 10cm 以内×よこ 6cm 以内とする。
(4) シューズ規則 (フィールド競技 TR5.2 適用除外) が適用され、トラック種目においてシューズの厚さを計測する場合がある。
(5) トラック競技出場者は、腰ナンバー標識を各校で用意する。1500m 以上の競技は主催者側で用意する。腰ナンバー標識の大きさは、たて 12cm×よこ 18cm、男女ともに黒字。数字の線の太さは 1.5cm、文字の大きさは、たて 9cm×よこ 4cm とする。(男女とも黒)
(6) 本大会は北信越大会の予選は兼ねない。
(7) 本大会は特別国民体育大会新潟県代表選手選考大会とする。
(8) 本大会は全日本中学校陸上競技選手権大会の参加標準記録突破会とする。
(9) 本大会は全日本中学校陸上競技選手権大会の男女 4×100m の出場決定レースとする。
なお、県代表になったリレーチームは、県選手団の代表として全中の代表開会式に参加する。
(10) 全日本中学校陸上競技選手権大会について
①本大会及び県総体において、全国大会参加標準記録を突破した競技者は、令和 5 年 8 月 22 (火)～25 日 (金) に愛媛県松山市で行われる第 50 回全国中学校陸上競技選手権大会の出場資格を得る。
【参加制限】 1 人 1 種目まで。(リレーは除く)
②本大会で全中の参加資格を得た競技者の顧問は、全中受付にて必要書類を受け取り、記載された期日までに手続きを済ませること。
・「参加費」「アスリートビブス代」は 7 月 16 日 (日) (県総体 2 日目) までに納入すること。
・「個人申込書 (個票)」は 7 月 18 日 (火) 正午までに下記へ提出すること。
新潟県中体連 陸上競技専門部長 横尾 淑人
〒950-2055 新潟市西区寺尾上 新潟市立坂井輪中学校 電話:025-269-2009
(11) 宿泊に関する事項は宿泊要項による。
(12) 受付は競技場正面入り口付近で行う。
- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 14 日 (金) | 15 日 (土) | 16 日 (日) |
| 14:00～16:00 | 7:30～8:30 | 7:30～8:30 |
- (13) 競技場の開放は以下の通りとする。
- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 14 日 (金) | 15 日 (土) | 16 日 (日) |
| 13:00～16:00 | 7:00～8:30 | 7:00～8:30 |

* 14 日 16:00 より前の、競技場(周辺部も含める)での各校テントの設置及び場所取りは認めない。

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は2023年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項・競技注意事項による。ただし、スタートの不適切行為で、2度のイエローカードの提示を受けた競技者については、当該種目のみ失格とし、それ以後のすべての種目から除外しない。
- 2 ウォームアップ場は、河川敷公園及び駐車場特設アップ場、バグスタンド上段とする。投てき練習場は河川敷公園に設ける。定められた場所で係員の指示に従うこと。
- 3 競技者は規定のアスリートビブスをユニフォームの背と胸につける。ただし、棒高跳、走高跳、走幅跳の競技者は背又は胸の片側だけでよい。
トラック競技出場者は腰ナンバー標識を右腰につける。1500m以上の競技は主催者側で用意する。
- 4 競技場は全て全天候型のため、9mm以下のスパイクを使用する。ただし走高跳は12mm以下のスパイクを使用する。シューズ規則（フィールド競技TR5.2適用除外）が適用され、トラック種目においてシューズの厚さを計測する場合がある。
- 5 招集点呼は次のように行う。
 - (1) 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、役員にアスリートビブスとスパイク競技場内への持ち込み物品の確認を受けたのち、役員の誘導に従って入場する。
 - (2) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ、その旨を本人又は代理人が当該競技の招集完了時刻前に役員に申し出ること。
 - (3) 招集時刻については、その開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック	予 選		準 決 勝		決 勝		
	100m ・ 200m		100m ・ 200m		100m ・ 200m		
	400m ・ 800m				400m ・ 800m		
	1500m ・ 3000m		ハードル		1500m ・ 3000m		
	ハードル ・ リレー				ハードル ・ リレー		
	開 始	完 了	開 始	完 了	開 始	完 了	
	25分前	15分前	25分前	15分前	25分前	15分前	
フィールド	予選			決勝			
	走幅跳・砲丸投			走高跳・走幅跳・砲丸投		棒高跳	
	開 始		完 了	開 始	完 了	開 始	完 了
	50分前		40分前	40分前	30分前	70分前	60分前
四種競技	トラック競技				25分前	15分前	
	フィールド競技				30分前	20分前	
	第2種目以降についても招集所で競技者係から点呼を受ける。						

- (4) 招集点呼に遅れたものは競技に出られない。

- 6 トラック競技の組み合わせと走路順、フィールド競技の試技順について
 - (1) トラック競技の予選ならびにフィールド競技の全種目については、左側の数字で示す。
 - (2) 準決勝・決勝の場合は総務が抽選して決定し、掲示する。

7 競技方法について

- (1) 100m・200m・ハードルは準決勝を行う。
- (2) リレー競技を除くトラック競技では次のラウンド進出のためにプラスアルファ方式を採用する。同記録があり、レーン数が不足するときは写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは抽選とする。ただし、同組の場合は着順優先とする。次のラウンド進出のためにプラスアルファ方式を採用する。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げかたは次の通りとする。ただし状況により変更することもある。

《走高跳》	男子	(練習 155)	160・165・170・175・180・183・185	以後 2cm きざみ
	女子	(練習 130)	135・140・145・150・155・158・160	以後 2cm きざみ
《四種走高跳》	男子	(練習 135・150)	138・141	以後 3cm きざみ
	女子	(練習 118・133)	121・124	以後 3cm きざみ

*練習の高さは希望による。
*人数を均等に分けた2グループで行う。

《棒高跳》	男子	(練習 230・350・400)	240・250	以後 10cm きざみ
	女子	(練習 160)	170・180・190・・・320・325	以降 5cm きざみ
- (4) 走幅跳・砲丸投の予選通過標準記録は次のとおりとする。なお、状況によって当該審判長の判断により変更することがある。

《走幅跳》	男子	6m55	女子	5m45
《砲丸投》	男子	13m00	女子	12m50

予選通過標準記録を越えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第TR25.22を適応する。
- (5) ジャンプオフ（第1位決定戦）のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- (6) フィールド競技の走幅跳、砲丸投は次の通り計測ラインを設定する（四種競技は除く）。状況により変更することがある。なお、計測記録に達しない場合でも、有効試技の1回目は計測する。

《走幅跳》	男子	5m30	女子	4m20
《砲丸投》	男子	9m00	女子	8m50
- (7) 800mはセパレートスタートとし、ブレイクライン通過後はオープンとなる。
- (8) リレーのオーダー用紙は各ラウンドとも第1組目の招集完了1時間前までにTICへ1部提出する。（オーダー用紙は予選：学校受付時に渡す。決勝についてはTICに置く。）
- (9) 棒高跳の競技者は支柱の移動について、試技前に係員に申し出ること。
- (10) 競技用具は会場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用する。

8 表彰について

各種目1位に優勝杯（持ち回り）とメダルを授与する。トラック競技及びフィールド競技の優勝者は競技終了後、直ちに役員の指示に従い、表彰選手控え所に移動すること。また、8位まで賞状を用意するので、顧問が受け取りにくること。

9 マナー等について

- (1) 競技場内には該当競技の競技者および役員以外は立ち入りを禁止する。
- (2) リレーを除くトラック競技のスタート前の更衣については次のように行う。
 - ・袋（かご）に入れる → 生徒役員がフィニッシュまで運ぶ → フィニッシュ付近で受け取る